

地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 渡内地区では、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「わたうち将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）からは、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。
- 第3回は10月28日（月）に渡内公民館で開催しました。（参加者12名）
引き続き、地域の合意形成を積み重ねながら検討を進めます。

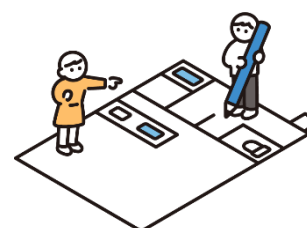
新たな活動拠点の機能や活用方法をみんなで描く！

- 第2回で確認した地域密着型施設（公民館・児童館・敬老の家）の「良い点・気になる点」をふまえ、第3回では「新しい施設での活動や期待する役割」のアイデアを出し合い、実現するために「必要となる機能や条件」について考えました。

参加者のみなさんからいただいたアイデア

新しい施設での活動や期待する役割（抜粋）		必要な機能や条件（抜粋）
共通 【居場所・多世代交流】	● バasketボールやハンドボール、卓球ができる ● パブリックビューイングができる ● 多世代でeスポーツができる	● 市民館規模の体育室、倉庫 ● ロッカー室（貴重品入れ）、更衣室、休憩所 ● フリーWi-Fi ● 軽食ができる飲食店
コミュニティ、町内会・自治会 【地域活動】	● コミュニティの事務局機能	● コミュニティの事務室、倉庫 ● コミュニティ・指定管理者・児童館などの事務室、倉庫がそれぞれあると良い
サークル・各種団体	● 料理教室 ● カラオケ、バンド演奏、太鼓などをしてしたい	● 調理室 ● 防音設備のある部屋
未就学児・保護者	● 親子（乳幼児）が利用しやすい ● 親子で自由に遊べるキッズスペース	● 授乳室 ● 死角がなく目が行き届くレイアウト
子ども・若者	● テーブル遊び（ぬり絵など）ができる ● 一輪車、大型積木などがあり長時間遊べる ● 勉強ができる	● 対象者（子ども、親子、小中学生）別に使える部屋 ● 遊べる広い遊戯室（体育室）
高齢者	● 高齢者が来やすいようにしたい ● 敬老会などのイベントを広いホールでやりたい	● 立地、バリアフリー ● ボタン1つで飲み物が出る機械 ● 多人数で使える部屋
地域住民（個人）	● たまに来てリフレッシュできる ● コワーキングスペースで作業ができる	● 開放的な交流の場 ● パソコン

※第2回の意見内容も一部記載



本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-603-2211

0562-33-1111（内線152、156）

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp